

新年特別講演会のご案内

グローバル化が進展する現代社会において、年間の輸送量が100億トンを超える海上物流は世界経済を根底から支える必要不可欠な社会システムとなりました。天然資源の9割以上、食糧も約6割を輸入に依存している我が国では海上輸送の安定供給は最重要のテーマと言っても過言ではありません。一方、海事社会ではゼロエミッションなど環境保全の面からの多くの技術課題に加え、新興国の発展によるグローバル化とリーマンショックなどの世界経済の情勢変化、国際情勢の変化といった多様な側面に強く影響されるため、海運経営は予測困難な要素が多い中で多岐にわたる知識と情報分析が重要となってきます。本講演会では、講師に(株)商船三井の若岡邦昭氏を迎え、これまでの海上物流が辿ってきた変遷に始まり、現状と今後の予想について船会社の立場から分析した内容をご紹介します。近年では2019年より世界中で流行している新型コロナウイルスにより我々の日常生活にも大きな影響が生じていますが、この点の海上物流への影響も紹介の上、今後の物流のあり方を考える機会とできれば幸いです。多数のご参加をいただきますようご案内申し上げます。

記

- 日 時 : 特別講演会 令和4年1月12日(水) 16:00~17:00
会 場 : 本講演はオンライン形式により実施いたします
*会場 URL リンクは後日、申込者にメールにてご案内いたします。
- 参加費 : 無料、要事前申込
- 講演題目 : 海上物流の現状と今後の動向
- 講 師 : わかおか くにあき 若岡 邦昭 氏
株式会社商船三井
コーポレートマーケティング部 BI・マーケットリサーチチーム
プロジェクトリーダー

世界経済を支える海上物流について、船会社からの視点によりこれまでの変遷、現状と問題点、将来への取り組み等についてご紹介します。21世紀の海運は新興国の発展によるグローバル化、原油価格の高騰、リーマンショックによる経済危機、EEDIの施行による海洋環境の保全と将来へのゼロエミッション化へ向けた取り組み、さらには世界中で流行する新型コロナウイルスによる日常生活への影響など様々な要素が海上物流に反映されています。ポストコロナ社会に向け、海上物流が今後どうあるべきかについて考える機会としたいと思います。

- 申込締切 : 令和4年1月5日(水)
申込み先 : 下記 URL か QR コード よりお申込みください。

<https://forms.gle/voWQMR8TxJz62J8ZA>



- 問合せ先 : 公益社団法人 日本船舶海洋工学会 関西支部事務局
TEL : 06-6879-7593 FAX : 06-6879-7594 携帯電話 : 070-1305-2902
E-mail : k.office@jasnaoe.or.jp